
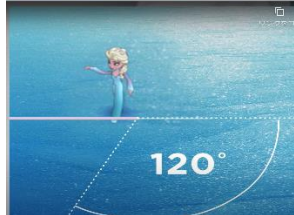



小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
 未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	アナ雪でプログラミングをしよう！
学年	小学校第3学年
目標	○プログラミングの楽しさやおもしろさ、達成感などを味わうことができる。プログラミングを体験することができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Hour of Code (アワーオブコード)
環境	学校設置のタブレット型端末1人で1台の端末を使用
都道府県	東京都
実施校	荒川区立尾久西小学校
学習活動の概要・ 児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<p>教科：学級活動</p> <p>① Hour of Code のウェブサイトページから「アナと雪の女王」のメニューを選ぶ。</p> <p>② Hour of Code で基本的な操作の仕方を学ぶ。用語の意味や操作方法を指導する。児童同士が互いに教え合うように事前に伝え、周知する。</p> <p>③ プログラミングのできたことやステージのクリアの仕方を他学年の友達に伝え合う。友達のわからない点を、相手に分かりやすく伝え、相手の意見をしっかりと聞くことで、プログラミングの学習の定着を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>操作の仕方を学ぶ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>角度の学習内容</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学んだことを他学年の友達に教える</p> </div> </div> <p><授業後の感想></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>アナ雪をレベル6まで クリアさせられてよかった 次はレベルをいっば いクリアさせたい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>アナ雪でプログラミング ができるなんてしなくて、 ビックリしました。 次に他のステージクリア し、モアをやりたいたす。</p> </div> </div>
成果と課題	プログラミングは楽しい、おもしろい、またやりたいと思うものになった。発表のツールとしてプログラミングを学べた。